

オフセット・クレジット（J-V E R）制度における 対象プロジェクト種類の追加に係る意見募集の結果

1. 意見募集の概要

オフセット・クレジット（J-V E R）制度における対象プロジェクト種類に追加する対象として、「デジタルタコグラフの装着によるエコドライブ」のポジティブリスト（案）及び方法論（案）について、以下のとおりパブリックコメントを実施した。

- 募集期間：平成 22 年 11 月 18 日（金）～平成 22 年 12 月 3 日（木）
- 告知方法：電子政府の窓口（e-GOV）及び環境省ホームページ
- 意見提出方法：電子メール、郵送、F A X のいずれか

2. 提出された意見数

意見提出者数：1 名・団体
のべ意見数：1 件

3. 提出された意見の概要及びそれに対する考え方について

別紙のとおり

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度における対象プロジェクト種類の追加に対する意見募集結果とその対応方針について(整理表)

該当箇所	指摘事項の概要	指摘事項への対応
デジタルタコグラフの装着によるエコドライブ		
<p>資料2-1 P1 (方法論)</p> <p>プロジェクト概要</p>	<p>【意見】</p> <p>デジタルタコグラフよりもCO2削減効果の期待される機器として、「瞬間燃費計」がございます。</p> <p>瞬間燃費計を車両に装着することにより、走りながら車の燃費を視認し理解できるようになります。</p> <p>これにより、運転しながら「燃費が向上する運転方法」をドライバー自らが探求できるようになります。</p> <p>例えば、下記の動画のように、数値とグラフで燃費を視認することで、アクセルの使い方燃費が大きく向上することが体感できます。</p> <p>http://www.youtube.com/watch?gl=JP&hl=ja&v=eMJpj-Orfs4</p> <p>(宣伝になってしまいスイマセン。上記は弊社で開発した燃費計の動画でございます。 http://www.tabinomado.jp/n/) (同じような車の後付け燃費計は各社から発売されております)</p> <p>燃費が向上する運転方法が体得できれば、カタログ燃費以上の数値も出せるようになります。(ちなみに、私自身はカタログ燃費の+20%の燃費を出せております。もちろん時と場合によりますが。)</p> <p>一方、一般的なデジタルタコグラフは、運転しながら燃費の視認はできません。デジタルタコグラフの主な機能は、運転データ(時間、距離、速度など)を機器に記録し、走行後に運転データをパソコンなどで解析して見るだけです。これでは、いつ、どこ、どのような運転が燃費に良かったのか(悪かったのか)が分かり難く、燃費が向上する運転方法を身に付けるのは困難です。</p> <p>瞬間燃費計ではこれが容易に可能となります。</p> <p>もちろん、デジタルタコグラフを否定するわけではありません。ただ、燃費を向上させる機器として、デジタルタコグラフの他にも「瞬間燃費計」というものが存在します、ということをお意見させて頂いた次第です。</p>	<p>【回答】</p> <p>ご指摘の通り、燃費改善装置としてはデジタルタコグラフ以外にも複数想定され、それらを排除する意図はございません。</p> <p>ただし、装置毎に、投資回収年数の計算に用いる燃費改善率や、排出削減量の算定に用いる燃費改善率の上限値を設定する必要があります。このため、当該装置を対象とするには、これらを設定する根拠となるデータが得られる必要があり、その温室効果ガス排出削減効果が公的機関等により実証されていることが望ましいです。</p> <p>このため、現時点で瞬間燃費計を対象とすることは難しいと判断致しました。よって、当面は現行案どおりとし、継続的な検討課題とさせていただきます。</p>